

年度	2023	開講学期	前期集中	単位数	2	時間割コード	Q904
授業科目名	地場産業・企業論			担当教員名	今井 潤		
授業科目名：英語	Theory of Local Industry and Enterprises						
重複科目名							
セット科目名							
開講情報		曜日	時限	時間割コード		【凡例】 ：当該科目 ：同時に履修すべき 科目（セット科目）	
				Q904			
主な対象学生	人文社会科学部 1,2,3,4 / 教育学部 1,2,3,4 / 理工学部 1,2,3,4 / 農学部 1,2,3,4						
科目の情報	科目の種別	教養教育科目		科目番号			
主な使用言語	Japanese						
履修上の条件	岩手県立大学アイーナキャンパス（アイーナ7階）で、6月7日（水曜日）から 7,8,9,10校時連続開催。7月中旬までの予定。フィールドワーク（企業訪問：東日本機電開発（盛岡市内））も実施する。デザイン思考を世界に広めたSAPジャパンの全面的な協力の下、開催する。						
担当教員情報	氏名（カナ）	今井 潤（イマジ ムン）					
	担当教員名（英語）	IMAI Jun					
	所属	研究支援・産学連携センター					
	常勤・非常勤						
	研究室	旧教育2号館2階					
	公式サイト	岩手大学 研究者総覧：http://univdb.iwate-u.ac.jp/html/163_ja.html researchmap：https://researchmap.jp/read0079772					
	個人サイト						
相談可能時間	火曜日12:10～13:00						
他の担当教員							
キーワード	地元就職、岩手高等教育コンソーシアム、デザイン思考、SAP、企業研究、PBL、地域関連科目、PBL						
学位授与方針との関係	持続可能な共生社会への志向性 環境問題をはじめとする複合的な人類的諸課題に対して、持続可能性と共生の観点からその解決に取り組む姿勢を持つに寄与します。			学位授与の方針			
				知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現
				20%	40%	30%	10%
授業の目的	<p>新たなアイデアやイノベーションを生み出す方法論としてデザインシンキング（デザイン思考）が注目を集めています。デザインシンキングは、イノベーションのみならず、マーケティングなどビジネスの領域で、さらには複雑かつ多様な課題を抱える社会問題の領域で、新しいアイデアや可能性を発見するための問題解決プロセスでもあります。デザインシンキングは、人への共感を活用し、企業や社会が抱える問題を再検討し、新しい可能性を探っていく手法です。</p> <p>本講義では、SAPジャパン様のご協力により、地場産業・地場企業の抱える課題に対して、学生とともにデザインシンキングを用いて解決策を導き出します。本講義の特徴は、学生がデザインシンキングに参加して体験できること、「学生×地場企業×SAP」のデザインシンキングを岩手県内で実施すること、にあります。シリコンバレーなど世界各地で、有名企業で数多く実践されている最先端の問題解決手法を、岩手県内で実際に体験し、学ぶことができます。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) デザインシンキングの手法を学ぶ</li> <li>2) デザインシンキングの必要な背景を学ぶ</li> <li>3) デザインシンキングの実践を通じてそのプロセスを学ぶ</li> <li>4) デザインシンキングの実践、特にグループワークを通じてコミュニケーションを学ぶ</li> <li>5) 地場企業への視察、地場企業の課題に対するデザインシンキングの実践、により地場産業及び地場企業の現状を理解する</li> </ol>						
授業の概要	<p>第 回 座学：なぜデザインシンキングなのか？ 第 回 体験：デザインシンキングのお試し （2コマ連続、講師はSAPジャパン）</p> <p>第 回 対象企業となる地場企業研究 第 回 同 （2コマ連続、講師は担当教員）</p> <p>第 回～第 回 デザインシンキングの実践（2日連続の1日目、5コマ連続） 第 回～第 回 デザインシンキングの実践（2日連続の2日目、5コマ連続） （講師はSAPジャパンと担当教員）</p> <p>第 回 レポートティングと発表 （講師は担当教員）</p> <p>注意点1）第 回～第 回は、2日間にわたる連続講義（1限目～5限目）となる。 注意点2）授業計画は都合により変更することがある。</p>						
実務経験の有無と授業内容への反映							

授業の形式	座学および、ワークショップ、企業訪問。					
授業時間外の学習/ 予習・復習	県内の自治体や、企業の現場を訪問します。企業訪問日には、終了時間がオーバーすることがあります。					
詳細計画（各回または週の具体的な授業内容、目標など）						
回/週	授業内容	予習・復習	備考			
1	なぜデザインシンキングなのか？	特になし	6/17			
2	デザインシンキングのお試し	特になし	6/17			
3	対象企業となる地場企業研究	特になし	6/25			
4	対象企業となる地場企業研究	特になし	6/25			
5	デザインシンキングの実践	特になし	未定(2日間連続講義1日目)			
6	デザインシンキングの実践	特になし	未定(2日間連続講義1日目)			
7	デザインシンキングの実践	特になし	未定(2日間連続講義1日目)			
8	デザインシンキングの実践	特になし	未定(2日間連続講義1日目)			
9	デザインシンキングの実践	特になし	未定(2日間連続講義1日目)			
10	デザインシンキングの実践	特になし	未定(2日間連続講義2日目)			
11	デザインシンキングの実践	特になし	未定(2日間連続講義2日目)			
12	デザインシンキングの実践	特になし	未定(2日間連続講義2日目)			
13	デザインシンキングの実践	特になし	未定(2日間連続講義2日目)			
14	レポートティングと発表	特になし	未定			
15						
16						
17						
18						
成績評価の方法と基準	評価方法	割合	評価観点			
			関心・意欲	知識・理解	技能・表現	思考・判断
	レスポンスカード	20%				
	ワークショップへの取組	50%				
	発表	30%				
評価の基準（具体的に）						
第 回・第 回、第 回・第 回 レスポンスカードにより評価する（20%） 第 回～第 回 グループワークでの取り組み態度などによる総合的評価を行う（50%） 第 回 プレゼンテーションなどによる総合的に評価を行なう（30%） なお、出席は取るが、座学のための講義ではないため出席点は勘案しない。						
履修における留意点	令和5年度 会場は県大アイーナキャンパス学習室1 6月7日スタート予定。予定変更の可能性があるため、事前にメール等で確認すること。					
教科書 / 教材						
参考文献						
コースリザーブ図書						